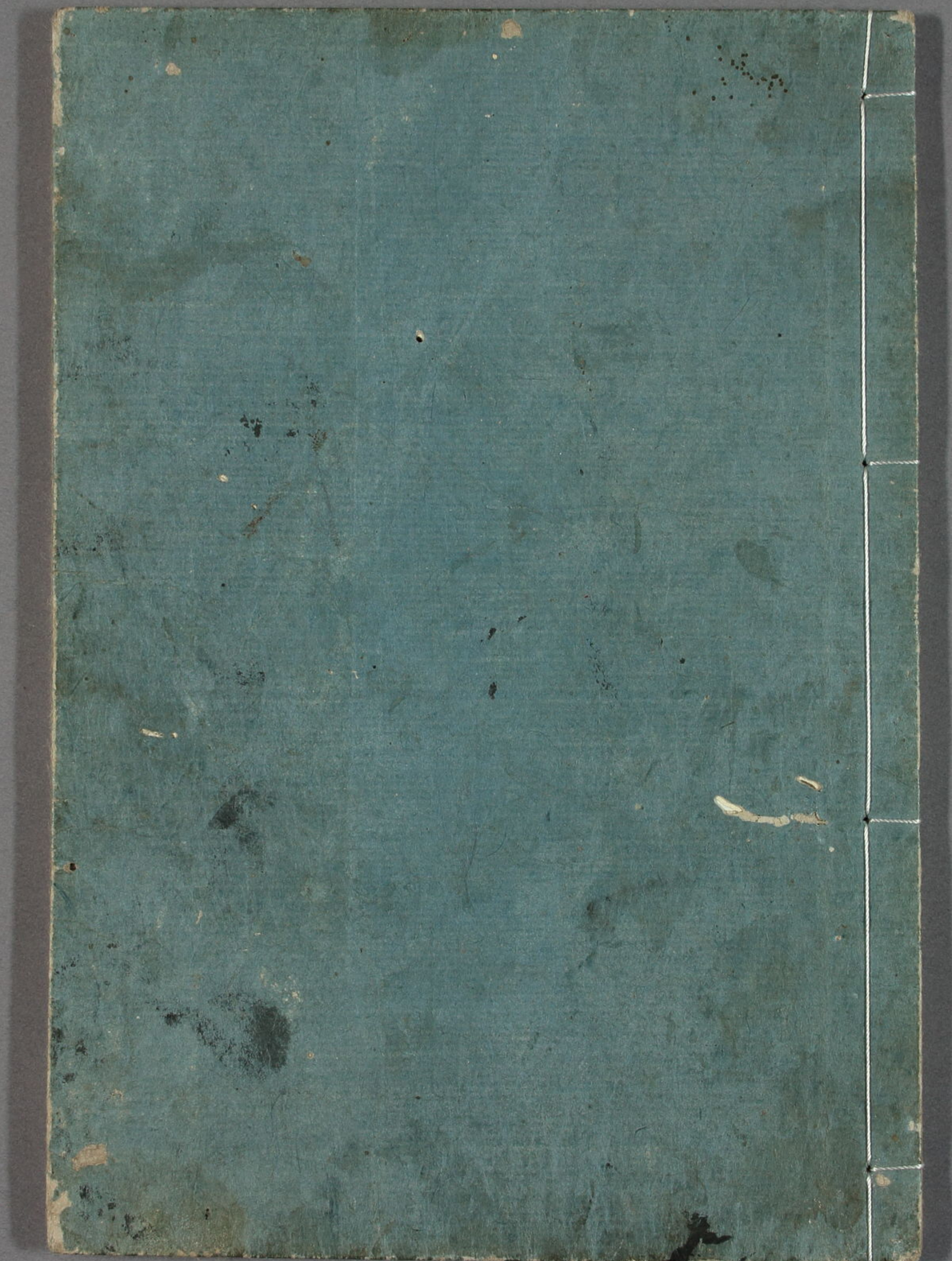
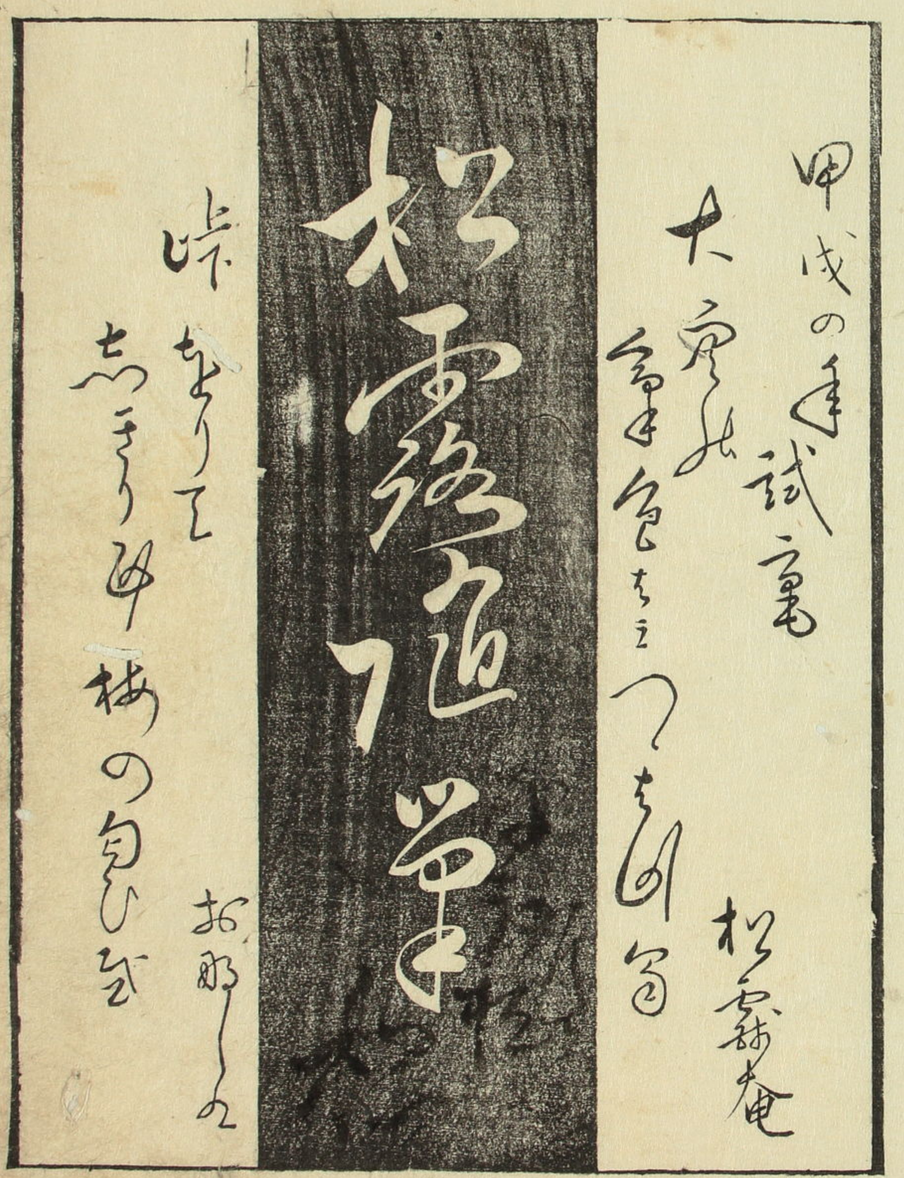



杉雲菴
甲戌の春試毫
杉雲菴
梅の匂ひ哉
おもかげの

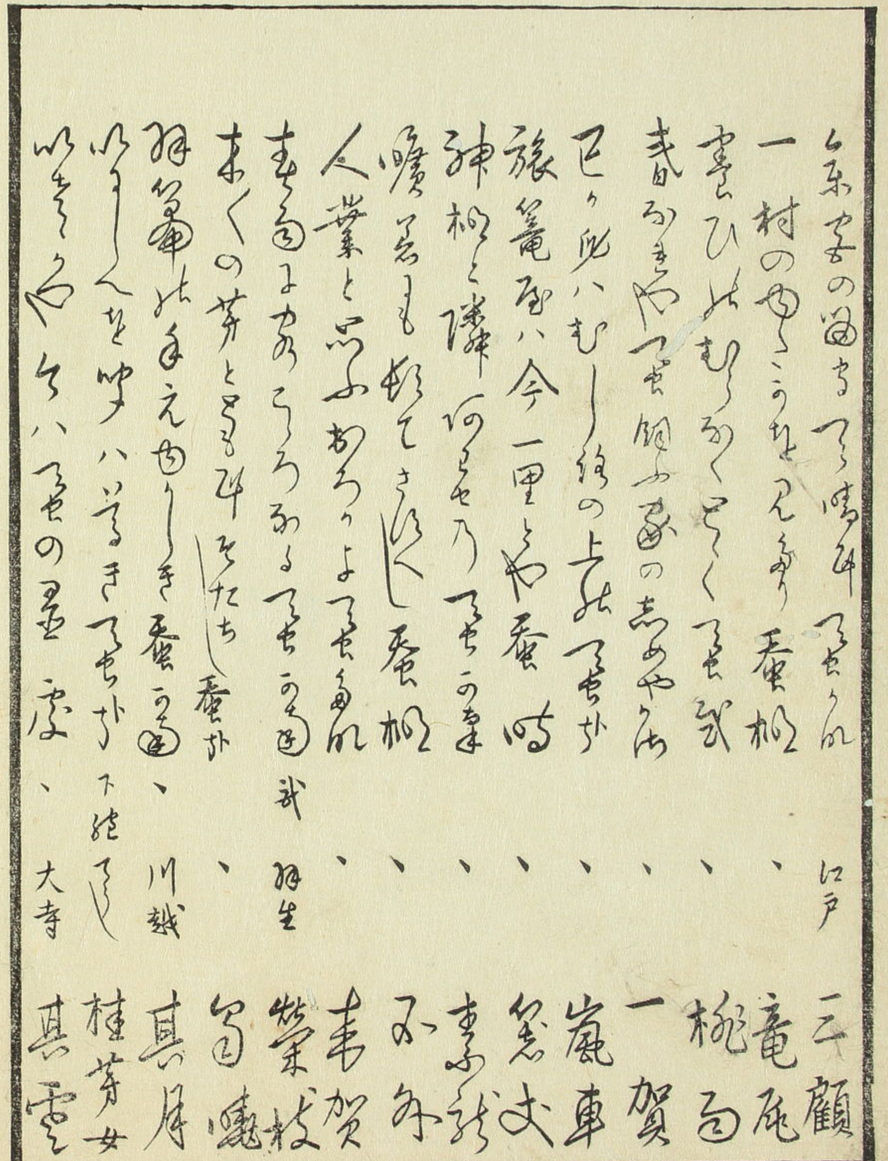
八保三十郎詠書

甲戌の年月次句題

皐月廿日

活んとそ慙ぢ初鰹　江戸
山寺や　虹の日ちらり　飛のかち　廣洲角ら
燈ともし頃の　雫して　長き夢　江戸　竜尾
門松や　東海の　一つ星　上総　苅谷
古郷や　燕の古き　根さし　会賀野　百童
涼しさを　門の松風　江戸　松玄
枝珊瑚　実も生ぬらん　雪折り　江戸
木蔭より　木蔭を猫の　夢路　竜尾
大雨の　あとしづかなり　一尺五寸　燕石
茶は　昔文を添る　芽うどん　三顧

きのふと　私の　投扇興
物語の　あひもなき　木賀相　江戸　百駅
古傘　朝ハ　ちらし　物法　竜尾
此三寸物語の　ちから　不尽
うらうらき　色よ　物語芳八重　箕冬改　舟の
筋もなき　昨の　上総　東金
子孫やく　越ゆる日も　雅崎　桜葉
雪の雲　待や　昨の　江戸　竜尾
ものの芽　待ても　到ても　芽の
蒙立つ　蓬　若草の　昨の
昨もなく　志ぐる　雨の　江戸　舟秋
昨もなく　昨の　雨の　雨斬
昨も　雪の　小世原　舟の
昨も　雪の　上毛　くらの　里乙



二顧　江戸
竜尾　〃
桃邑　〃
一賀　〃
嵐車　〃
窓丈　〃
素秋　〃
不朽　〃
事賀　〃
紫枝　〃
旬曦　〃
其角　川越
桂芳女　〃
其雪　大寺

老ぬ子か去年の冬上原
冬鶯心濁めり　探芦
朱の雪を観式ふる　羽生
花深く百氣の谷ゝ　亀峰
踏捨ふ茶ゝき　江戸
植ゑ一ゝそ冬のけふ　竜尾
茶けふ世のてゐる　花楳
雪ゐ人ゝ　山雖
眼よりのまゝ　又角
筆もて郭公　素秋
湖あゝ湯てゐ茶ゝ面　甘茅
茶の山心手綱る道も　二柳
古寺や踊起こし　羽生　高藍
初ゑめ人ゝ　上ゑ井　南文
冬の延　梅旭

去年ゑゝ人ハ老ゑゝ冬籠江戸路　青雲
ゑゝて世のてゐろゝ　名我
茶ゝ茶ゑゝ上総田百　文車女
氣ゑゝ冬ハ一冬の雪中の狩　
冬ゑゝ心越る淵　川越
茶ゑゝ心つゝ流ゑゝ　江戸　花蝶
茶ゑゝ心つゝひよ　
茶ゑゝ心つゝ蛇籠作ゑゝ雪の奥　
つゝのゑゝ出ゑゝ　
折て果るゑゝ小鈴　羽生　梅裏
茶ゑゝの深む岩ゑゝ日の ゑゝ上法木示　
つゝの心ゝ妙ゑゝ日ゑゝ　
冬ゑゝ尾ゝ書簡掛ゑゝ　
松の梢　

ねつけて　すゝきさく　江戸
つくづくと　唯伸びやかし　〃
なが仲や　月のまよ日が来　〃
なが仲や　氣味よく雨の　日日が
落葉ふる　霧も伸びて　〃
啼くもの声も　雨ふる　〃
きくみちも　雨ふる雨や　〃
是まくの　義をくるめて　〃
なが仲よ　くまの義を　〃
なが仲や　朝の雨の　〃
まるき月よ　いの仲めく　〃
なが仲の　雪よ風の　〃
なが仲の　ふるくタくと　〃
いつの仲よ　法世なれぬ　〃

上州　板鼻
上州　高崎
上州　高崎

柳二　江戸
筍芽　〃
蛙車　〃
山鱠　加賀や
仏雪　羽生
雪松　〃
書蓋　〃
山タ　上谷井
里乙　〃
観里　〃
タ雨　〃
可雪　岡崎
里濱　川越
其角　〃

なが仲の　ふるくタくと　柳二　上毛沼田
つくづくと　唯伸びやかし　筍芽　江戸
なが仲や　月のまよ日が来　〃
なが仲や　雨ふる雨や　〃
世の孝よ　法世なれぬ　〃
なが仲よ　くまの義を　〃
なが仲や　朝の雨の　〃
なが仲の　雪よ風の　〃
鶯や　雪の朝　〃
鶯や　雪の朝　〃
鶯や　細雨　〃
死ぬる風　ふるく雪　〃
影日の石　ふるくまで　〃
綱おろす　ふるくまで　〃
鶯や　ひやかすく人の　〃
山里ハ　小のくる雪を　〃
雪ふる　ふるくまで　〃

上州　高崎
上州　高崎
下総　大寺
沼田
秩父畑
上州　高崎山
秩父
下総　下妻
三州　岡崎
江戸

暁鼠　江戸
竜尾　〃
象丈　〃
現井　〃
其雲　〃
樊圃　〃
蕪石　〃
連水　〃
賀来　〃
梅林　〃
邑君　〃
一簾　〃
如雪　〃
渡川　〃

花乐の宴森ま伸く新茶か　江戸　女　桂堂
栄の戸や新茶よこそる茶の更　根生　幾雄
茶迎年鈴茶屋ま新茶か　上谷井　智乐
迎茶未ま茶ま新茶か　上毛　吉妻東町　ち㐂矢
茶僧の森屋鞍さ也ん茶氏　子敬
名を生ける茶めそ玄新茶哉、沼田　美子女
風薫る風鳴ま　、　樊圃
湯一屋井、味のう風ま　江戸　篤丈
岩鼻茶の匂ひも涼　、　竜尾
緑乱泊ま風ま屋方や風薫　かりや　鈴露
茶ま未風ま楷の枝より　根生　梅妹
萱蔵の森覚ま風の葉ま　上谷井　錦彩
風薫る彩い茶まの枝　くらの　百童
大湖ま志ま茶の井生風薫　園宮　夢柯

日ぐ霧井ま風薫ま
ぐ井や彩ま味ま　雛古
もま雨や時まて特の雀
帆い茶ま梅ま二ま
お皆茶ま

皐月

お茶ま浅ま井の茶ま㐂
ま茶ま彩ありけま
書ま二ま茶の牡丹ま　上州
生ま二ま牡丹哉　紫田伯
ま茶ま藻ま二ま　根生
ま茶ま漆一ま　上谷井
牡丹哉ま茶の彩ま　板橋
陳倉年ま深ま　一の壬
ま乃寂

桂芳女　一瓢
ま井町　江戸
山樵　竜尾
梅妻
燕石
青籃
山夕
一の壬
観里

上京　探芹
くるの　里乙
沼田城内　晝郎
羽生　聖松
江戸　素彭
　、　花壇
　、　李流
　、　春耕
　、　暮雪
　、　一瓢
　、　李峰
くるや　採石
沼田　時也

川越　貞鄭
くるの　百童
江戸　江左
上ル井　梅旭
　、　文圃
　、　爽亭
　、　自来
　、　仙李
上州くるや　如柳
佐刕玉井堅　緑水
羽生　雞雛
江戸　柳二
　、　山雖
　、　寫丈

かや　岬　崖
上州川原湯　豊耕
富田　亀三
岡崎　喬坊
江戸　一籟
　井口
　竜庵
　杏坡
　曽蓼
　松二
　曽曽
　真重
　井口

嵐車
秩田畑　蓼石
　梅墨
上州井　山夕
高井野　山魚
沼田　樊園
江戸　蜀六
　東条
柏泉　可亭
仁通　小竹
かや　仙李
上州井　錦秋
江戸　富孝
　柳二

[illegible]
[illegible]
[illegible]

踊子の中こゝろおどりおてをうつ彩雲閣久枝
まん丸なお月さまより踊り子の顔 鶴石
盃のこゝに映るまで、森ぬ合点 富田 龜足
門毎に人こゝに響くこゝろの音 江戸 東彩
川筋へそこゝに人も船の音 梅笑
人出を祝ふのつゝみ哉 江戸

往来をしてもる雲 江戸 雪渡
初潮や鰹おろしの風乃 江戸 カツヤ 東魚
きもの潮や掘りほる井の二三尺 江戸 三顧
なまこ売世ハ新毛 醤油 蕪石
おろそうな思ひもよらぬ稲の色 加ツヤ 仙雪
ほそもそも七転八倒の稲乃葉 上ゑ井 梅旭
月まで毎日物のうる、 椎崎 松茶

の五日の雨大切な小松のそれ
おそだち人のこゝろも稲の葉
植ゑ心も苗の命も掛ゑ哉 江戸 三顧
掛ゑ哉 歌仙 堂の句より 東彩 吉政
日ごゝろ井戸況ある男 江戸 雪渡
掛ゑ仕舞うまで道々気 江戸
きもの汐や掛ゑ新ぼ汐の沖へ風 沼田機関 書郎
初潮やしつゝうつる人の顔 上京 探芽
きもの着も着ぬ迄うつる渕の藻 津田 年吹
初しほ汐ハ潮ハきれ八潮ハ哉 江戸 出葉
きもの潮や袷の中も月の影 桃雨
初汐や雫も月の影 久母二
きもの汐や雫も月の影 柳二
きもの着も着ぬ迄うつる渕の藻 東梅
名月や雫も月の影 桃雨

江戸 高賀
上総 荒川 泉玉
、田百 谷雄
上舎井 画史
大寺 春雲

上舎井 南史
荒川 泉玉
亨井畔 山嶺
加ヶや 仙麓
江戸 三顧
、 梶雨
、 玉梅
沼田 画堂 郎

田百 谷雄
椎崎 松茶
春ら 鷺賀
羽生 杉呂
江戸 江左
、 伴秋
、 真洞
、 玉影
上舎井 梅旭
、 翁秋
、 如葉
亨井畔 山嶺
津辺 年吹
山城 版図 戸雲

秋蕎麦の花つくまで先つく月の後

神無月

馬売めし汗のこるや小まぐ

荷ひ出す市高く小まぐ

鍬鎌や口つきの人まの雪の

一雨の村作よつ種て蹲る雀

匂ひよきそろそろ新の新

霜一降の大根畑

一小雨そこ〳〵

簑も松毛も

立ち花いかめしき

風のある枝あり

江戸　伴友
三顧

椎崎　校葵
江戸　玉彩
上谷井　緑秋
江戸　雲耕
三顧
笠丈
秋し丸
上谷井　古国文
精石
梅窓
羽生　我雛

鍬鎌や世八太平乃給の秋

あんのこと腹の膨れをく

鍬鎌やみんきんな人こそ

あんなれ山子の力なる切

物集の人八見えぬ山城伯園

東中や時雨よ雪よ松一本

時雨や山こそ先へ日の当る

ちこそや袋をかぶる馬

老ら小まぐ家の如

くろ〳〵清士よ日のさし小まぐ

降るもの小まの日向日のうみ里

小まの日下雲あの一頭り

伯精西落をさしる小まぐ

岩まで〳〵見さきあり小まの壁

葛川　泉茅
江戸　梶雨
真洞
羽生　梅亭
檜山
仁逸　服ら
江戸　富川
伴秋
柳葉
物来　芭蕉
秀ら　撃壁
江戸　江九
伯園　戸雲

上谷井　女史
江戸　三顧
駿田畑　蕪石
江戸　東賀
　　露耕
　　三顧
　　茶蝶
　　柳二
　　李北
　　泉玉
　　李静
　　仙李
上谷井　南史

仮園　櫻山
姫東　素桃
江戸　柳茶
　　眞洞
　　東梅
　　竜尾
　　如葉
　　洋迅
　　午吹
第田　竜生
上谷井　仙賀
　　琴彩
上谷井　南史
江戸　桃雨

江戸 春梅
〃 紅雪
荒川 泉香
上谷井 梅旭
〃 錦秋
江戸 青雲
吸園 櫻山
〃 梅巖
備後福山 雨六
上谷井 山夕
上毛生形 呂同
〃 鶴石
江戸 不知

椎崎 杉蓉
江戸 三顧
〃 竜尾
椎崎 杉蓉
上京 探芳
高井野 山嶺
江戸 江雪
〃 三顧
〃 雲丈
〃 喜好
〃 春耕
〃 甚洞
〃 柳二

滝壺の水千尋の岸より落る
如く風水激相打つる拮撲
、、
勢ひ紀谷の雲も
見ゆるが如く、仙臺平常を
日のつゝまず出入りする
下荷ハ土乃津る駄
下馬ハ土地より見到
下荷ハ磯ヶ谷乃雪原
ゑるもの下駄ハ雪
四駄屋く雑ゟ一駄の
雑ゟ修の志和栄

鞍石　丁
梅園　、
一箱　、
江戸　ゟ
警賀　ゟ
仙李　かや
江戸　柳花
富田　亀之
醤油　薬石
江戸　桃西
、
花蝶

定連

名ゟハ下津潟ゟ
河豚汁ハ園ゟ杖つゝ
津ゟゝ舞ゟ
一駄ゟ衣ゟ

江都
坐泉
喜思
百里
田人
旨嶽
如枕

等ハ原の
西ハ志和平野西
樋ゟ日を暮ゟゝ
等原ハ野を渡ゟ

東雅改

柳志改

他鄉

風和おだやかの意にも用ゐる
家郷に同じ
雲の彼方
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下

雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下
雲の果
雲の端
雲の外
雲の隔
雲の間
雲の中
雲の奥
雲の底
雲の上
雲の下

和葉
姓著
春塗
漫歩
雄峰
智駅
汐風
舞袈
葉歩

游光
中書
村江
玉虹
三堂
角丸
梅堂
孤子
美岳

木澗
山玉攻
下谷成田

歩行廣峰

星入雲誰を乗せたる松の風
たつた今起きたばかりの様な顔をして
活動写真の看板を見る朝の目
無峰の吉野山すその日暮れ
牛車白川を渡る夏の月
暑き夜船の光涼しき
風落て雪高く山年暮れ

杜鵑　下総成田　五花
出る時は里のさゝ山ほとゝぎす　上総久留里　知水
小笠ゟ小豆物語夢　一醒坊
ちる花は流れの十三里、　坂田小つる　吟松
苔の香や一面ゟ雨の雫　推嵩　蓼汀改　停雲
雫ゟ雫ゟ雫ゟ

面まと夕ゐれこその岸　上州　三ツ谷　梅盛
[illegible]　[illegible]　花鏡女
子子神[illegible]　[illegible]
汲つる水も秋の匂ひ哉　[illegible]
夏山[illegible]　沼田　[illegible]　一雪
[illegible]　川原湯　岩山
[illegible]　沼田　大棟
[illegible]　上州井　西園
[illegible]　松鶯女
[illegible]　武州[illegible]生　素鶴

四[illegible]
日西[illegible]
[illegible]
[illegible]

成文庵　鳥皆

支化庵　醉居

春曉庵　鳥江

野立庵　舊三

松李庵　一夢

逸日庵　梅翁

一夢庵　滄波

羽生町大字羽生百九拾二番地

小久保彦太郎